

2016年6月30日

登録組織担当者 様

一般財団法人日本ガス機器検査協会
(JIA-QAセンター)
QA事業部長 青木 武行

第3回JABアワードのお知らせ

拝啓 貴社ますますご盛栄の段お慶び申し上げます。平素は、JIA-QAセンターの審査認証業務にご理解賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊センターが認定を受けている公益財団法人 日本適合性認定協会(JAB)では、認定・認証制度のさらなる発展をめざした「JAB アワード」を実施しています。2014年度・2015年度はISOマネジメントシステムを有効に活用している事例を集め、優れた内容に対して表彰を行いました。2016年度も「第3回 JAB アワード」を実施し、ISOマネジメントシステム認証の取得、活用を検討している企業、組織にとってよい見本となる事例を募集しております。詳細につきましては下記をご確認ください。

敬具

記

1. 応募概要：資料1を参照ください。
2. 応募期間：応募エントリー期限 2016年7月20日(水)
応募書類送付期限 2016年8月31日(水)
3. 応募書類送付先：第3回 JAB アワード事務局
e-mail: JAB_Award@nikkeipr.co.jp
ホームページ: <http://www.jab.or.jp/>

以上

【第3回 JAB アワード】

事例表彰実施の趣旨	<p>◎本協会は、認定・認証制度のさらなる発展を目指し、「JAB アワード」と命名した表彰制度を実施しています。</p> <p>◎表彰事例を広く発信し、組織各位が継続的に認証を維持することの価値を再発見していただくとともに、あらゆる関係者の新たなモチベーションを喚起することがねらいです。</p> <p>◎本年度は、マネジメントシステム認証取得組織の有効活用事例を集め、優れた内容に対して表彰を行います。</p>
表彰対象	<p>◎JAB の認定を受けている認証機関による ISO 9001、ISO 14001、ISO 22000、ISO 50001 をはじめとするマネジメントシステム認証組織の「マネジメントシステム有効活用事例」</p> <p>◎かつ1回以上の更新審査を経験している組織の事例</p> <p>◎法令違反の無い(過去にあっては是正処置が完了し、再発していない)、もしくは行政指導を受けていない組織の事例</p>
候補事例の収集方法	◎JAB ウェブサイト、メディア等を通じた公募
選考メンバー (年度毎に選定)	<p>中條 武志 氏 : 中央大学理工学部 経営システム工学科 教授</p> <p>井口 新一 氏 : 一般社団法人 RMA 代表理事</p> <p>伊藤 明 氏 : 株式会社エイリイ・エンジニアリング 取締役副社長</p> <p>土居 栄三 氏 : 大阪いずみ市民生活協同組合 CSR 推進室</p> <p>久保 真 : 公益財団法人 日本適合性認定協会 顧問</p>
表彰式等	<p>◎優秀な事例を表彰し、表彰状、楯を授与</p> <p>◎JAB 主催の「事例報告会」(2017年3月開催予定)にて有効活用事例の詳細を講演いただく</p> <p>◎JAB ウェブサイトで有効活用事例の詳細を公開</p> <p>◎表彰に関するプレスリリース、新聞広告記事等を発信</p>
JAB 広報による有効活用事例の公開	表彰された有効活用事例を広く波及するため、外部メディア及び JAB ウェブサイトで詳細を公開し、取得のメリット・効果、継続性の意義等を発信
スケジュール	<p>6月8日～7月20日 : 応募エントリー期間</p> <p>8月31日 : 応募書類提出期限</p> <p>9～12月 : 選考期間〔書類選考、現地訪問・インタビュー〕</p> <p>1月 : 結果発表、プレスリリース等、表彰、取材</p> <p>3月 : 表彰式 および 事例報告会 (同日内で実施)</p>

【JAB アワード】

第3回 JAB アワード 応募シート

応募エントリー期限：2016年7月20日（水）

応募書類送付期限：2016年8月31日（水）

組織名称		
組織住所	〒	
主な業務内容		
組織構成員数	約	名
認証を受けているマネジメントシステム（該当に○）とその認証年数	ISO 9001	約 年
	ISO 14001	約 年
	ISO 22000	約 年
	その他（ ）	約 年
組織担当者部署		
担当者役職		
担当者氏名		
連絡先	電話番号	
	e-mail	
認証機関名称（略称可）		

応募書類は、選考以外の目的には使用いたしません。また、個人情報に関するデータは、本応募に関する本協会からの問い合わせ及び選考結果報告のみに使用させていただき、個別詳細データを第三者に公表したりすることは一切ありません。

- ※ ページ数の制限は特にありませんが、[目安として全体で10ページ程度に記述](#)願います。
- ※ 行は適宜、挿入ください。

問1. 貴組織の事業の特性（顧客、提供している製品・サービス、製品・サービスに対する顧客・社会の期待・ニーズ、製品・サービスを提供する上で重要となる固有技術などの特性）を記述願います。特に、問2で記述する貴組織のマネジメントシステムの特徴や問3で記述する得られた成果と関係の深いものを記述願います。

[記入欄]

補問 マネジメントシステム（MS）導入前や導入当初における貴組織の状況・課題について記述願います。

[記入欄]

問2. 貴組織のマネジメントシステムの特徴（特に工夫している点）を記述願います。他の組織のマネジメントシステムとの相違がわかるよう、できるだけ具体的に記述願います。

（留意事項）適宜、仕組み図や帳票例などを示してください。

（ご参考）MSの特徴の例を以下に示します（第1・2回 JAB アワード表彰事例より引用）。もちろん、この内容に限定されるものではありません。

- 組織の目指すべき姿を「未来志向のビジョン経営」と明確化し、全社員で共有している。
- 「徹底した未然防止の実践」や「リスクマネジメントの実践」でリスクの顕在化と未然防止を図っている。
- 「異常の顕在化による再発防止への組織的な取り組み」や「具体的数値目標の提示と改善事例の共有による連携強化」でパフォーマンス基準に基づく管理を実施している。
- 人材育成と全員参加を図るため、「計画的な人材育成と活発な改善活動」「部課長・経営層による人材育成強化活動」「社員を中心とした組織運営と技術開発の促進」を行っている。
- ISO 14001 と ISO 9001 の共通部分を洗い出し、仕組みをスリム化。事業活動と ISO を一体化させ、実務を担当する組織で運用している。
- 目標達成状況に応じた対応と処置基準を定め、事業所長主催の会議で検討。組織横断的な環境・エネルギー管理体制を構築し、処置基準を明確化して更なる環境保全に繋げている。
- 中期経営計画に基づき、各職場の政策執行課題、目標と方策を明確化。全員を巻き込み、プロジェクト方式や横断的な委員会によって改善を実践、中期経営計画と現場の活動をつなぐシステムを構築した。

など。

[記入欄]

補問 トップのリーダーシップ、全員参加について特徴的な点があれば記述願います。

[記入欄]

問3. マネジメントシステムを運用した結果、どのような成果（品質向上、顧客満足、コスト低減、生産性向上、事故の減少、環境負荷の低減、社会貢献、従業員の成長・満足、新製品・新サービスの開発、業績向上、事業拡大など）が得られましたか。できるだけ事実・データに基づいて定量的に記述願います。

（留意事項）適宜、グラフや表などを使用して示してください。また、マネジメントシステムの導入・工夫に伴う成果の推移（時系列の変化）がわかるようにしてください。

[記入欄]

問4. MSの特徴（問2）と得られた成果（問3）とがどのように繋がっているのか、両者の関連性を説明してください。

（ご参考）MSを運用したことにより貴組織やその活動がどのように変化したのか（貴組織やその活動が変わる上でMSがどのように役立ったのか）、貴組織やその活動の変化が成果につながった理由などを記述ください。

[記入欄]

【応募書類送付先】

e-mail： JAB_Award@nikkeipr.co.jp

JAB アワード 事務局

※窓口は外部委託先となります。

※委託に際しては、個人情報を適正に取り扱っていると認められる事業者を選定し、守秘義務契約を取り交わしています。